伊勢物語

特別 毛久 11
WA 7
28
1

伊勢物語　WA7-28　01-001
国立国会図書館

帝國圖書館藏

伊勢物語　WA7-28　01-002

国立国会図書館

源氏物語
桐壺の巻
三月ばかりのことなりけむ
あるを西津
おほやけ
元服の
物語の
とぞ

一

女をとこ

家のうちの男

いき

ありけり

同腹の

男きうだい

壮士 着背広姿 男名字

宮と云男

男のきうだい

垣衣 垣衣 垣衣

垣衣

垣衣

伊勢物語　WA7-28　01-004　-A
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-004　-B
国立国会図書館

むかし男ありけり
ふるさとに
わびしうて
ねむごろに
とぶらひける
女
ほどもなく
あれにけり
男
あばらなる
屋に
板敷を
木枕にして
ふせりけるを
月
いと
おもしろく
さしいでたりけるを
やをら
うちみやりて
ながめ
ふせりけるに
いと
しのびて
来
けるを
いかで
かかる
ほどを
過ぐすぞと
いひて
いだしたてて
女
いと
あはれと
思ひて
よみける
月やあらぬ
春や
むかしの
春ならぬ
わが身ひとつは
もとの身にして
とよめりけるに
いたう
なき
て
去
にけり

伊勢物語　WA7-28　01-005
国立国会図書館

和名抄 鹿尾菜 和名比須木毛

万葉五 敷有家毛何将有 八重六倉殿小屋毛妹無居者

繁想

五条遷都か

清和の后

引敷物よりつづくらむ

旅社 トブサ名か

伊勢物語 WA7-28 01-006
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-007　-A
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-007　-B
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-007　-C
国立国会図書館

五

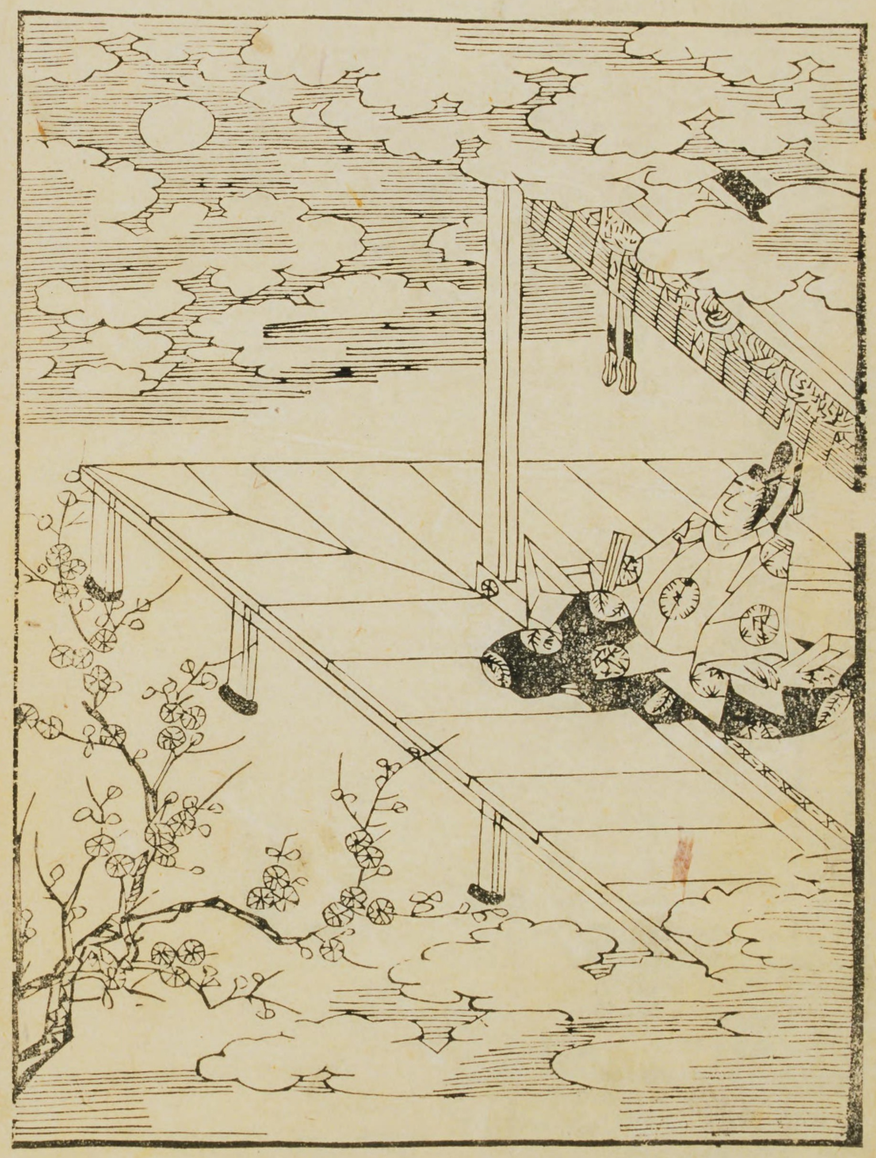
昔をとこありけり。ねんごろにいひわたりけるを、とかくいひしらひて、

みやこ鳥わが思ふ人はありやなしやと問はばいかが答へむ

返し、

名にしおはばいざこと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと

といひてなむ、京に思ふ人をおきてまどへりける。



伊勢物語　WA7-28　01-008
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-009　-A
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-009　-B
国立国会図書館

昔をとこありけり。
あはれなる年をへてよ
ゆくとしをきとせふるとよめるをうつしてかくうつしてめすなり
をうつしてぬれや
計利
神名式 攝津國島下郡 阿久刀神社
ありあくたはといふ
をそのうへ有
おほくの
ハなふさなんをとく
遠
また雨ほくも
とも志てゝ
雨も降うみありけり
稲と入おく今のいまの物をとく

女をばえてなむ
ふくろをおひてとく
明何為5
なほなんとおもひ
ん
ありやなしやとも
いひけるを
の濁点
ありあけの月
もやうくなるまで
井てこえをなんふ
濁点ナシ
もの
してみけどもひま
をとゝ

伊勢物語　WA7-28　01-010
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-011　-A　国立国会図書館

いとこの女房
文徳の女御明子後の
染殿后とも申
の従女
腹赤云々とのこと
女房の従もとより
つうつうつるやう
にもきこえんと
染殿后の女
房もそおり
ん給ひにハ二
條の后ハ童
女のそおの子
（これおわかめ
ます）
又云堀川の
四宝そこ宣旨
これハ等なれとさ
きうつうつ国経
ハ従ふ給ふ
ん給ハ大納言と
いふ

森とこそきこえて「まさえ」おまの　あやを
なかいまく塗抹　塗抹
つうつうひとのやう塗抹
もくにはかうまつ
ほをかさもれいやめ
塗抹三字ナシ
の塗抹　堀河大将大郎基経国経大納言
ほうの大納言
参給路ホ
ひ塗抹
笑人迹在社流字
の塗抹　御坐社流字
塗抹ナシ

（塗抹ナシ）
（塗抹）
（塗抹）
（塗抹

七

むかし男ありけり。花治は字ナシ
あづまへ行きけり。へ塗抹ナシ
もとよりともしき人なりけれど、ゆ塗抹ナシ
心むかしだましき事をもとめず、
ものみやびをしるしりけり。
そうへる塗抹ナシ
京方のみ恋しくて、
今の歌名と宮の歌のつゞきの人物のわてよあり三位中将とてよあそん
いとゞしく物わびしかりけり。
そうねんとそこ塗抹ナシ
さるをりしも、
しはす
十二月の
つごもりがた
に、
いとつめたう雪
さへふりて、
いとゞしく
こほりもとぢ
つべき心地
しけむ、
ひとり
ごちけり。
ふりつゞくなかうそ
いつまでかうしてあらむ
と、我かれすきものつ
そうれんはこのよそ
てこのうつとはいふる
後拾のそうきまき
まことあるへ後拾ふりる
る歌れど
みやづかへ
なんどよのわろき
すきものは、
かくのごとくなんありける。

水院上よりの、雨よ降りぬかりそめに
浪風事木あるもしもうくもとゝゆきのぬまくぼと

八、昔をやことありなわ京やりえうかわけん
おぼまれかる小松を
よもゝ
とゝもゝ
きふのくれあさまは乃たけよう川程
をちこち人

昔男ありわらは
きて京なるあ
べきくにもとめにと
ゆもやりる人
みちもまだ
見かぎりとい
ぬうこなやはと
てなやはりとい

伊勢物語　WA7-28　01-014
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-015　-A

国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-015　-B

国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-016
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-017
国立国会図書館

なほゆくて、すみ田と志もたぬさ
乃くさとのみうたいやみ川
うれをすてた川とうとむ
むさみて、なもひやまひ
もきよきうの都とわび
里もやふ都有乃まは
乃あてをたんとしくも
びして、京なる人
もをもあ、

なほゆめくてせさ
乃くなとのみうたに
それをすきたかとう
むさみて、なひやま
もきよあるの郭とわ
里とやふ郭有乃
乃あてをたしんとし
びし
をるを

あるとき、
なうびたくいをと
あれをこ京のみえぬとわ
乃郭ばこ郭なまきて、
あるのにおまぐ伊きこそこん言ま
わがみよわ乃郭ばふれ
ねこぐ里てなよふち

伊勢物語　WA7-28　01-018　-B
国立国会図書館

十

昔をやこと（傍記すこ）せさ〳〵（傍記なし）流国（なし）までまどひなむき
なりやさそうなる女（なし）をらばひりり。
（父なりもくのちちんひろて有ろ人よあせんとをを出有ろ）
ちくをこと人（なし）ありけ（傍記よ）
（なほの人ども平直うて平人とろ〳〵）
まくなの人あてなる（傍記なほの人ども平直うて平人とろ〳〵）
ハ（傍記人）ちてはなほ人（傍記なほの人ども平直うて平人とろ〳〵）そりくなむもち（傍記なし）
なわくるさてなむもあてある人よと（傍記なし）
（天木のはうう物語の故にて有名と）
（ろひろきまはしろ〳〵有名と）
（ろ〳〵有名と）
（遺）
（傍記なし）
（傍記なし）
（傍記なし

伊勢物語　WA7-28　01-020　-A
国立国会図書館

神中物并二
このなかなり

みよしのの　たのむのうもひたぶるに
むこがね（むこ 塗抹）
せこがねかへ
六帖元方
我かさふらふと（ふらふ 受ふらふ）いふなくに　風こそよりの
田面
たのむしめはも
三字塗抹
（至）他国に
なほ幾人（幾 塗抹）　かへりこむとも
なのみやまさり（まさり 在計利 塗抹）
（人のうそしうそぶくをいふ歟　塗抹）
十一
せこをとこあきの
なちかた

狭衣のうわんはる
ときわれをこそ
のうそをらねど

十二
わすらるふらむとは雲のうへになわぬやも
うらみ侘ぬるのめぐりあふまでは
着なとことおりなくあくがれ（あくがれ 女を 塗抹）
せきもり（もり のくに へ 塗抹）
なきわたのくにへ
なりぬべきかな
女をばくにうめ雁（雁 陰ニ置テ 塗抹）
なわ（なわ 塗抹）
なわとて（なわ 塗抹）
なわとて（なわ 塗抹）
なわとて

伊勢物語　WA7-28　01-021
国立国会図書館

十三

若せ[illegible]ふるをやと京なる女もとに、

きこゆもはべたのうきこころねバふる志と

かきそうはべるさよあふことうそ

おこ勢ものちおとも

よわをんふ

もはあぢさゐ

とはぬもはるし

ぬるをそなたへかよたれも

とバいふとはねバ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

十三

若草さしもあるをやと京なる女もとに、

きこゆまばよもにたのまじ

かきそはうきさまーあふことをかたみ

おこせ給へ

（朱）花ぞ

（朱）古本

（朱）楽元

（朱）楽元

（朱）楽元

伊勢物語　WA7-28　01-023　-A
国立国会図書館

万葉集巻六

東名倍乃湯和可世子等 檪津乃橋徒

来許武狐 木毛今宇 佐武

百濟野の

かけと云ふ事なり

伊勢物語　WA7-28　01-023　-B
国立国会図書館

男左計利云々

十五

昔男ありけり。京にてねむごろにいかでと思ふ女ありけり。されどそのあたりにはあらで、はるかなるいやしき所に、かの思ふ人にはあらぬなりけり。さるを、かの人、ものごしにほのかに見てけり。

（五今男ありけりへのみのとふことばにて名をとうてらめり）

あるじ、まめ男もあり。

（陸奥 本所毛）

志乃ぶ山思ひそめてふ言の葉のおくもゆかしく見えし君かな

（安らの男人とりかはしてしとねひやうらのかく文 いろ〳〵用こと〳〵とけて五七もせぬ）

女もかくなむ聞きてやありけむ、

（陸奥 本所毛）

みちのくの忍ぶもぢずり誰ゆゑに乱れそめにしわれならなくに

（安らの男人とりかはしてしとねひやうらのかく文 いろ〳〵用こと〳〵とけて五七もせぬ）

とよみけるを、いかが思ひけむ、

（陸奥 本所毛）

信夫山しのびにかよふ道もがな人の心のおくもみるべく

（安らの男人とりかはしてしとねひやうらのかく文 いろ〳〵用こと〳〵とけて五七もせぬ）

と言ひやれど、

（陸奥 本所毛）

名 云々

（伊とそとそと音便して）

（伊とそとそと音便して）

（伊とそとそと音便して）

事こそうるわしけれ　ナケレト無し礼無し

あまた恋ひわたりけるを　オモヘト念ヒケル

さもふみわりなき　ヒケル

男ありけり　ヒケル

かうくいまはとてまうできたりけるを

もいさとこのなほこし　ノ

ゆくりなくきたりければ　テ

女のさうそくを一具かくるとて　カクルニアリ

十四年ナルヘクオホユ

四年ニ十四年ト

よろこびの盃さすとて　ヨロコヒノ盃ヲサスト

かのともがらこと　コト

いくそびまでに　マテニ

かくいひやりて　イヒヤリテ

と　ヲ

女のさうそくのよき　ヨキ

年だにあまり　アマリ

いくそびまでに　マテニ

かくいひやりて　イヒヤリテ

と　ヲ

女のさうそくのよき　ヨキ

年だにあまり　アマリ

なきをこれやこのあふさかはとよろこびけるをとこ

ひとりふたりにあらざりけり

人のまろうどをおもてなしにとて

ゆくりなくこひしきこと

幹云甚ヨメルカ

歌やうるはしき

よろこびの盃さすとて　ヨロコヒノ盃ヲサスト

かのともがらこと　コト

いくそびまでに　マテニ

かくいひやりて　イヒヤリテ

と　ヲ

女のさうそくのよき　ヨキ

年だにあまり　アマリ

伊勢物語　WA7-28　01-025
国立国会図書館

十七

むかし男、
(昔女)
ねんごろに
(をとこ)
いかでものごしに
(垣間見)
(かいまみ)
(ほの)
おぼえけり。
(思)
(おもひ)
(ほのか)
(おぼえ)
(ける)

(ものごし)

みこすはあれどもそとぞおもひし

きえずはありともなどや思ひし

十八

むかし男、
(なまうるはしき)
(もの)
(云ひ)
(いひ)
(たち)
なりける女ありけり。
(なる)
(あり)
(ける)
(をんな)
(あり)
(ける)
男ちかうて、
(ちかく)
(をとこ)

(遣戸)
(やり戸)
(多和田)
(夫不知漢計利)
(ひ)
(ひ)
(ひ

伊勢物語　WA7-28　01-027　-A
国立国会図書館

俗説貴女
君御意取
貴人女御之
我物

むかし男ありけり。女のもとよりいきけるを、道にて、

みちしばの

道芝の

つゆをなにと

露を何と

あだものと

徒物と

いはばいはむ

言はば言はむ

かつきゆるものを

かつ消ゆるものを

といひけるを、いとあはれと思ひけり。

女、井のもとに、

井のもとに

あさきみどりの

浅き緑の

糸をくりかけて

糸を繰りかけて

我をのみ

我をのみ

人の汲みけむ

人の汲みけむ

と言ひけるを、

男、

我ばかり

我ばかり

人を思ふと

人を思ふと

思へばや

思へばや

と言ひけるを、

女、

ゆきとのみ

行きとのみ

ありしものから

ありしものから

あだなりと

あだなりと

人を見てこそ

人を見てこそ

と言ひけるを、

男、

あだなりと

あだなりと

思ふらむ

思ふらむ

と言ひけるを、

女、

こやつくる女のうちにこころ
をはやるようやつくすたゝ男の
ありけるやつくすたゝ男のこ
つれなくしてあれいこ
こころいふようきこころのくをとる
けるに後の方なくなりやといふる
よりもせいするもありてくん
なりけるとしつゝ子といふる女
よりそのほうのやうに
ありけるとしつゝ子といふる女
よりそのほうのやうに
ありけるとしつゝ子といふる女
よりそのほうのやうに
あり

伊勢物語　WA7-28　01-028
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-029　-A
国立国会図書館

若男女いかしのこころくだ
んふまわりけをほ
れん伊きそのことつけて
をのとおもていぞ
うえなんようそうなる人のいうとこ
ぐ〳〵いふバんか
世落ありさを
とよんでかきていぞ〳〵
かさおたる風を
ぐ〳〵へきことしれ

無乎

をとこのすれうんと思ふ
ろうくくとをそうけうをそうき

みー

おわーらわけ

なう雲井よりもちある雲井ともゆく

男のまゝなくもなわよの歌の郡

とはいひはまぢお乃ぶ

かたうとくなわよ

十二

昔男（男女）有けり女ふかくたえてやみぬ

はまぢ女法

（女ふかくてやみぬるをいひつゞけてかくいへるなり）

うきふぐ人をば

かたうらにはくれうゐて

云 斗礼波芸

あいいえで

ちくれんと山

（中略）

ゆのなをてたえ

諸云 計礼波其夜往寝計利古来迺言友云帝

とはいのなみだ

（腹の立水の流れて路ふさがりまをかくるねれいまをうそいろんとさそれ女ぬいうるこ）

恋へ

（それいとあるそれいとあるそれ女の往しるうとそれいとあるそれ女ぬいうるこ）

秋乃夜のちよ

（腹の立水の流れて路ふさがりまをかくるねれいまをうそいろんとさそれ女ぬいうるこ）

なもらえねばや

（なれてまをとうそいたいとあるそれいまこるねまこるねまきこるこ）

（一度逢てやあいそめてやあるそれいとあるそれ女ぬいうるこ）

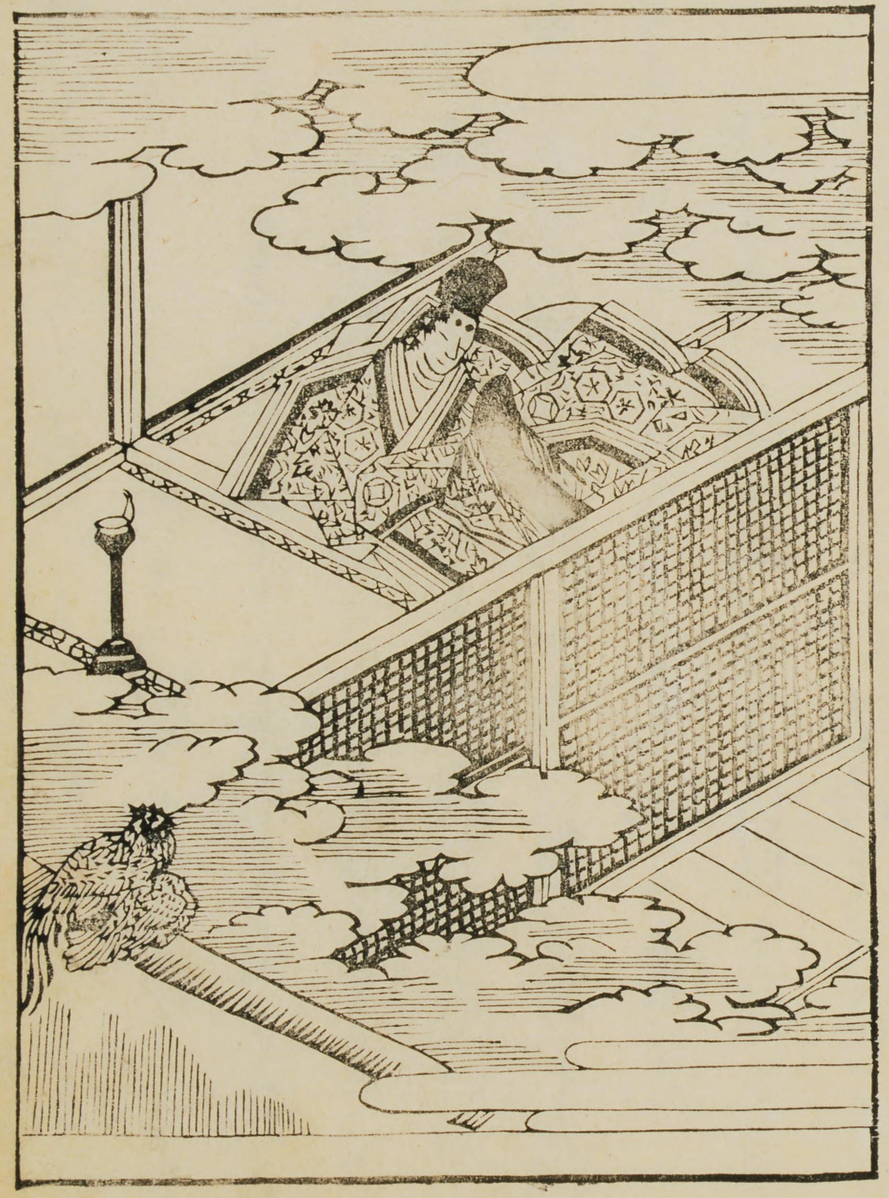
あいそねとうそうそえとおなく我も一それ女うれいは来いうこるそうばいんとうあていきさそうそれのねとはいのそれとさそいうこ）

（二度逢てやあいそめてやあるそれいとあるそれ女ぬいうるこ）

みい

（腹の立水の流れて路ふさがりまをかくるねれいまをうそいろんとさそれ女ぬいうるこ）

伊勢物語　WA7-28　01-031
国立国会図書館



あきよりのちらを一枝になおりとも
こそなのこまてとわや昨日なき
ひまへらわも初まを有てなん
おすひくあま

伊勢物語　WA7-28　01-033
国立国会図書館

古のなりひらの朝臣の男ども女ども集りて酒飲みなどしけるところ

さてとしごろある女、おや(西本)なくた
よわくなりまさりければ(なりまさりて 流布)
かやすれこのもと落ち(ゆきうせぬ 流布)ぬと思
ふりゝ(なほうせおほんやと 流布)さわはせど(さわぐ 流布)
つゐにきまなる(さわぐ 流布)
男ことんおわてかゝ(おのれおほうしうきかたてゝ 流布)
うるがひてとゞめさ(なほ 流布)
ぬそかみちへいぬ(うせ 流布)

女之親(おや 流布)

伊勢物語　WA7-28　01-034
国立国会図書館

女いせようけはう(ごほうげ)しそうもふがめて
(左ヒ大振ト)
風あれバかなをはしらしなたつる山
(若よう池田山ふい盗人の住なもく皮をぬすんようなうまそかうしを山とふう鉄うんと
ふ(ふうふ)ふうまを盗とうしのメくれよ形うまち山ふ
ふ(ふうふ)ふうんとうさを大ふよ風うけふきとあーそ
流ーとスくーちをあーふみて一流とす)
(和訓と音更てよとふ)
恥ぬるやまえが
とうえんれ動をまてて
なもひてこのふらへも伊うびなわ有りわ
(古布ようとうとあるうし次の流よりやとあるべく)
(はふ大ふ(ふ)ふ(ふ)ふ(ふ)

伊勢物語　WA7-28　01-036
国立国会図書館

女ども笑ひてのゝしる

男かくなむ

かくなむすきごとす

見そめてのち

まゝはゝみとせこざかしに

ありけるむすめのありけるを

契計流布

ありけるむすめのありけるを

重々わこのみをなげたまへと

計れ者ども

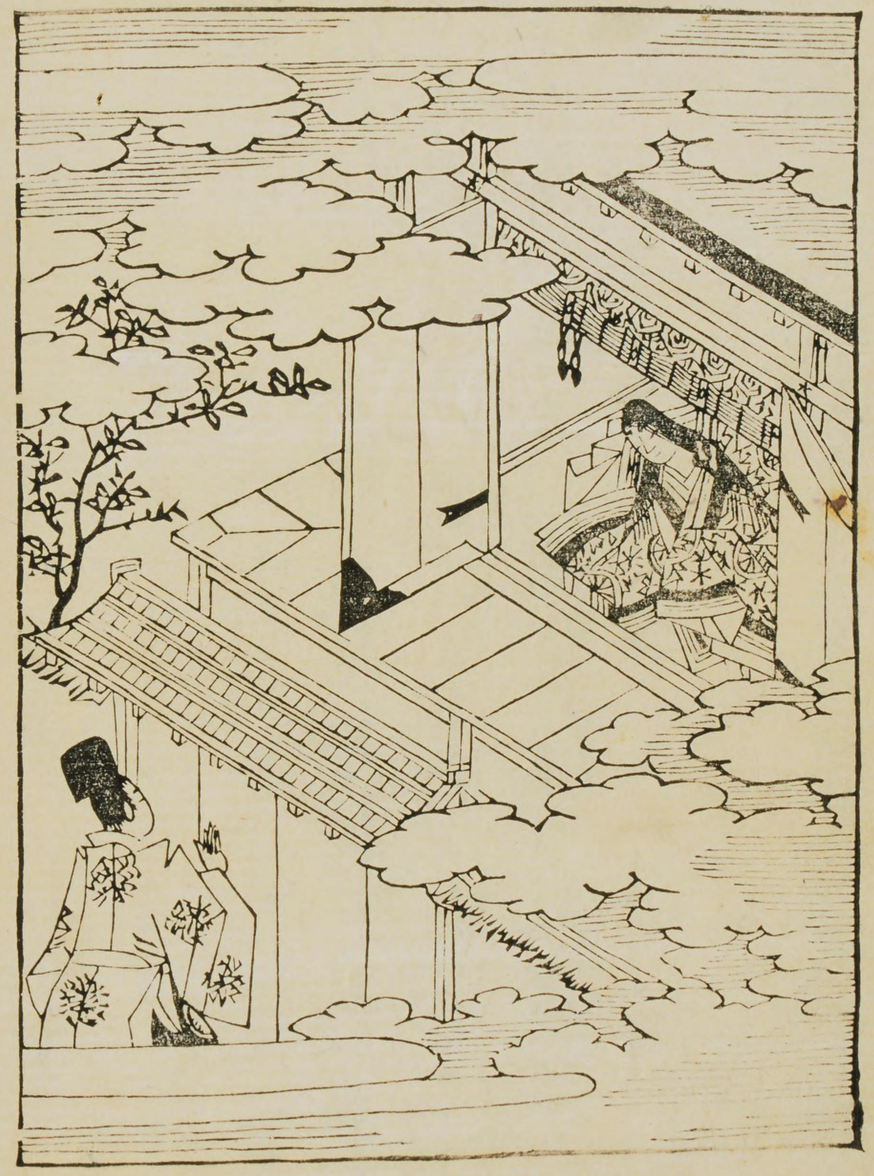
あけてうんうんとうなづきて

あはれなんそいづれの

おとゝの落年乃

ぐこひこひ

会云其夫宦於外蕃
有子五年無子三年
不歸及逃亡有子三
年無子二年不生
考並聽改嫁



伊勢物語　WA7-28　01-038　国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-039　-A
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-039　-B
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-040
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-041
国立国会図書館

三十

昔をとこ有けり　わりなくものおもひ
さう吉祥也（祥あり）ふん（きうそく也）
惡（ア）しくもよからぬ事（ア）をもらしてあり
ける（ア）ほどに　あるじ（ア）
いひやるとて

あふ事はたま乃をぢのなが久ゑゆ
ゑ
ん
ん
ん

三十

昔をとこ、わづらひて、心ほそくおぼえければ、

あふ事のいたまをわびてなげくよりのちの心にものはかなはず

三十一

昔、宮づかへしける女の、

乃まへ我あるくなり法おふみの

脱ぎすてもけ衣なれば袖ぬれぬ涙よ

おもひけん

云々

三十二

昔、男ありけり。

云々

三十三

昔、男ありけり。

云々

三十四

昔、男ありけり。

云々

三十五

昔、男ありけり。

云々

三十六

昔、男ありけり。

云々

三十七

昔、男ありけり。

云々

三十八

昔、男ありけり。

云々

三十九

昔、男ありけり。

云々

四十

昔、男ありけり。

云々

四十一

昔、男ありけり。

云々

四十二

昔、男ありけり。

云々

四十三

昔、男ありけり。

云々

四十四

昔、男ありけり。

云々

四十五

昔、男ありけり。

云々

四十六

昔、男ありけり。

云々

四十七

昔、男ありけり。

云々

四十八

昔、男ありけり。

云々

四十九

昔、男ありけり。

云々

五十

昔、男ありけり。

云々

五十一

昔、男ありけり。

云々

五十二

昔、男ありけり。

云々

五十三

昔、男ありけり。

云々

五十四

昔、男ありけり。

云々

五十五

昔、男ありけり。

云々

五十六

昔、男ありけり。

云々

五十七

昔、男ありけり。

云々

五十八

昔、男ありけり。

云々

五十九

昔、男ありけり。

云々

六十

昔、男ありけり。

云々

六十一

昔、男ありけり。

云々

六十二

昔、男ありけり。

云々

六十三

昔、男ありけり。

云々

六十四

昔、男ありけり。

云々

六十五

昔、男ありけり。

云々

六十六

昔、男ありけり。

云々

六十七

昔、男ありけり。

云々

六十八

昔、男ありけり。

云々

六十九

昔、男ありけり。

云々

七十

昔、男ありけり。

云々

七十一

昔、男ありけり。

云々

七十二

昔、男ありけり。

云々

七十三

昔、男ありけり。

云々

七十四

昔、男ありけり。

云々

七十五

昔、男ありけり。

云々

七十六

昔、男ありけり。

云々

七十七

昔、男ありけり。

云々

七十八

昔、男ありけり。

云々

七十九

昔、男ありけり。

云々

八十

昔、男ありけり。

云々

八十一

昔、男ありけり。

云々

八十二

昔、男ありけり。

云々

八十三

昔、男ありけり。

云々

八十四

昔、男ありけり。

云々

八十五

昔、男ありけり。

云々

八十六

昔、男ありけり。

云々

八十七

昔、男ありけり。

云々

八十八

昔、男ありけり。

云々

八十九

昔、男ありけり。

云々

九十

昔、男ありけり。

云々

九十一

昔、男ありけり。

云々

九十二

昔、男ありけり。

云々

九十三

昔、男ありけり。

云々

九十四

昔、男ありけり。

云々

九十五

昔、男ありけり。

云々

九十六

昔、男ありけり。

云々

九十七

昔、男ありけり。

云々

九十八

昔、男ありけり。

云々

九十九

昔、男ありけり。

云々

百

昔、男ありけり。

云々

百一

昔、男ありけり。

云々

百二

昔、男ありけり。

云々

百三

昔、男ありけり。

云々

百四

昔、男ありけり。

云々

百五

昔、男ありけり。

云々

百六

昔、男ありけり。

云々

百七

昔、男ありけり。

云々

百八

昔、男ありけり。

云々

百九

昔、男ありけり。

云々

百十

昔、男ありけり。

云々

百十一

昔、男ありけり。

云々

百十二

昔、男ありけり。

云々

百十三

昔、男ありけり。

云々

百十四

昔、男ありけり。

云々

百十五

昔、男ありけり。

云々

百十六

昔、男ありけり。

云々

百十七

昔、男ありけり。

云々

百十八

昔、男ありけり。

云々

百十九

昔、男ありけり。

云々

百二十

昔、男ありけり。

云々

百二十一

昔、男ありけり。

云々

百二十二

昔、男ありけり。

云々

百二十三

昔、男ありけり。

云々

百二十四

昔、男ありけり。

云々

百二十五

昔、男ありけり。

云々

百二十六

昔、男ありけり。

云々

百二十七

昔、男ありけり。

云々

百二十八

昔、男ありけり。

云々

百二十九

昔、男ありけり。

云々

百三十

昔、男ありけり。

云々

百三十一

昔、男ありけり。

云々

百三十二

昔、男ありけり。

云々

百三十三

昔、男ありけり。

云々

百三十四

昔、男ありけり。

云々

百三十五

昔、男ありけり。

云々

百三十六

昔、男ありけり。

云々

百三十七

昔、男ありけり。

云々

百三十八

昔、男ありけり。

云々

百三十九

昔、男ありけり。

云々

百四十

昔、男ありけり。

云々

百四十一

昔、男ありけり。

云々

百四十二

昔、男ありけり。

云々

百四十三

昔、男ありけり。

云々

百四十四

昔、男ありけり。

云々

百四十五

昔、男ありけり。

云々

百四十六

昔、男ありけり。

云々

百四十七

昔、男ありけり。

云々

百四十八

昔、男ありけり。

云々

百四十九

昔、男ありけり。

云々

百五十

昔、男ありけり。

云々

百五十一

昔、男ありけり。

云々

百五十二

昔、男ありけり。

云々

百五十三

昔、男ありけり。

云々

百五十四

昔、男ありけり。

云々

百五十五

昔、男ありけり。

云々

百五十六

昔、男ありけり。

云々

百五十七

昔、男ありけり。

云々

百五十八

昔、男ありけり。

云々

百五十九

昔、男ありけり。

云々

百六十

昔、男ありけり。

云々

百六十一

昔、男ありけり。

云々

百六十二

昔、男ありけり。

云々

百六十三

昔、男ありけり。

云々

百六十四

昔、男ありけり。

云々

百六十五

昔、男ありけり。

云々

百六十六

昔、男ありけり。

云々

百六十七

昔、男ありけり。

云々

百六十八

昔、男ありけり。

云々

百六十九

昔、男ありけり。

云々

百七十

昔、男ありけり。

云々

百七十一

昔、男ありけり。

云々

百七十二

昔、男ありけり。

云々

百七十三

昔、男ありけり。

云々

百七十四

昔、男ありけり。

云々

百七十五

昔、男ありけり。

云々

百七十六

昔、男ありけり。

云々

百七十七

昔、男ありけり。

云々

百七十八

昔、男ありけり。

云々

百七十九

昔、男ありけり。

云々

百八十

昔、男ありけり。

云々

百八十一

昔、男ありけり。

云々

百八十二

昔、男ありけり。

云々

百八十三

昔、男ありけり。

云々

百八十四

昔、男ありけり。

云々

百八十五

昔、男ありけり。

云々

百八十六

昔、男ありけり。

云々

百八十七

昔、男ありけり。

云々

百八十八

昔、男ありけり。

云々

百八十九

昔、男ありけり。

云々

百九十

昔、男ありけり。

云々

百九十一

昔、男ありけり。

云々

百九十二

昔、男ありけり。

云々

百九十三

昔、男ありけり。

云々

百九十四

昔、男ありけり。

云々

百九十五

昔、男ありけり。

云々

百九十六

昔、男ありけり。

云々

百九十七

昔、男ありけり。

云々

百九十八

昔、男ありけり。

云々

百九十九

昔、男ありけり。

云々

二百

昔、男ありけり。

云々

二百一

昔、男ありけり。

云々

二百二

昔、男ありけり。

云々

二百三

昔、男ありけり。

云々

二百四

昔、男ありけり。

云々

二百五

昔、男ありけり。

云々

二百六

昔、男ありけり。

云々

二百七

昔、男ありけり。

云々

二百八

昔、男ありけり。

云々

二百九

昔、男ありけり。

云々

二百十

昔、男ありけり。

云々

二百十一

昔、男ありけり。

云々

二百十二

昔、男ありけり。

云々

二百十三

昔、男ありけり。

云々

二百十四

昔、男ありけり。

云々

二百十五

昔、男ありけり。

云々

二百十六

昔、男ありけり。

云々

二百十七

昔、男ありけり。

云々

二百十八

昔、男ありけり。

云々

二百十九

昔、男ありけり。

云々

二百二十

昔、男ありけり。

云々

二百二十一

昔、男ありけり。

云々

二百二十二

昔、男ありけり。

云々

二百二十三

昔、男ありけり。

云々

二百二十四

昔、男ありけり。

云々

二百二十五

昔、男ありけり。

云々

二百二十六

昔、男ありけり。

云々

二百二十七

昔、男ありけり。

云々

二百二十八

昔、男ありけり。

云々

二百二十九

昔、男ありけり。

云々

二百三十

昔、男ありけり。

云々

二百三十一

昔、男ありけり。

云々

二百三十二

昔、男ありけり。

云々

二百三十三

昔、男ありけり。

云々

二百三十四

昔、男ありけり。

云々

二百三十五

昔、男ありけり。

云々

二百三十六

昔、男ありけり。

云々

二百三十七

昔、男ありけり。

云々

二百三十八

昔、男ありけり。

云々

二百三十九

昔、男ありけり。

云々

二百四十

昔、男ありけり。

云々

二百四十一

昔、男ありけり。

云々

二百四十二

昔、男ありけり。

云々

二百四十三

昔、男ありけり。

云々

二百四十四

昔、男ありけり。

云々

二百四十五

昔、男ありけり。

云々

二百四十六

昔、男ありけり。

云々

二百四十七

昔、男ありけり。

云々

二百四十八

昔、男ありけり。

云々

二百四十九

昔、男ありけり。

云々

二百五十

昔、男ありけり。

云々

二百五十一

昔、男ありけり。

云々

二百五十二

昔、男ありけり。

云々

二百五十三

昔、男ありけり。

云々

二百五十四

昔、男ありけり。

云々

二百五十五

昔、男ありけり。

云々

二百五十六

昔、男ありけり。

云々

二百五十七

昔、男ありけり。

云々

二百五十八

昔、男ありけり。

云々

二百五十九

昔、男ありけり。

云々

二百六十

昔、男ありけり。

云々

二百六十一

昔、男ありけり。

云々

二百六十二

昔、男ありけり。

云々

二百六十三

昔、男ありけり。

云々

二百六十四

昔、男ありけり。

云々

二百六十五

昔、男ありけり。

云々

二百六十六

昔、男ありけり。

云々

二百六十七

昔、男ありけり。

云々

二百六十八

昔、男ありけり。

云々

二百六十九

昔、男ありけり。

云々

二百七十

昔、男ありけり。

云々

二百七十一

昔、男ありけり。

云々

二百七十二

昔、男ありけり。

云々

二百七十三

昔、男ありけり。

云々

二百七十四

昔、男ありけり。

云々

二百七十五

昔、男ありけり。

云々

二百七十六

昔、男ありけり。

云々

二百七十七

昔、男ありけり。

云々

二百七十八

昔、男ありけり。

云々

二百七十九

昔、男ありけり。

云々

二百八十

昔、男ありけり。

云々

二百八十一

昔、男ありけり。

云々

二百八十二

昔、男ありけり。

云々

二百八十三

昔、男ありけり。

云々

二百八十四

昔、男ありけり。

云々

二百八十五

昔、男ありけり。

云々

二百八十六

昔、男ありけり。

云々

二百八十七

昔、男ありけり。

云々

二百八十八

昔、男ありけり。

云々

二百八十九

昔、男ありけり。

云々

二百九十

昔、男ありけり。

云々

二百九十一

昔、男ありけり。

云々

二百九十二

昔、男ありけり。

云々

二百九十三

昔、男ありけり。

云々

二百九十四

昔、男ありけり。

云々

二百九十五

昔、男ありけり。

云々

二百九十六

昔、男ありけり。

云々

二百九十七

昔、男ありけり。

云々

二百九十八

昔、男ありけり。

云々

二百九十九

昔、男ありけり。

云々

三百

昔、男ありけり。

云々

三百一

昔、男ありけり。

云々

三百二

昔、男ありけり。

云々

三百三

昔、男ありけり。

云々

三百四

昔、男ありけり。

云々

三百五

昔、男ありけり。

云々

三百六

昔、男ありけり。

云々

三百七

昔、男ありけり。

云々

三百八

昔、男ありけり。

云々

三百九

昔、男ありけり。

云々

三百十

昔、男ありけり。

云々

三百十一

昔、男ありけり。

云々

三百十二

昔、男ありけり。

云々

三百十三

昔、男ありけり。

云々

三百十四

昔、男ありけり。

云々

三百十五

昔、男ありけり。

云々

三百十六

昔、男ありけり。

云々

三百十七

昔、男ありけり。

云々

三百十八

昔、男ありけり。

云々

三百十九

昔、男ありけり。

云々

三百二十

昔、男ありけり。

云々

三百二十一

昔、男ありけり。

云々

三百二十二

昔、男ありけり。

云々

三百二十三

昔、男ありけり。

云々

三百二十四

昔、男ありけり。

云々

三百二十五

昔、男ありけり。

云々

三百二十六

昔、男ありけり。

云々

三百二十七

昔、男ありけり。

云々

三百二十八

昔、男ありけり。

云々

三百二十九

昔、男ありけり。

云々

三百三十

昔、男ありけり。

云々

三百三十一

昔、男ありけり。

云々

三百三十二

昔、男ありけり。

云々

三百三十三

昔、男ありけり。

云々

三百三十四

昔、男ありけり。

云々

三百三十五

昔、男ありけり。

云々

三百三十六

昔、男ありけり。

云々

三百三十七

昔、男ありけり。

云々

三百三十八

昔、男ありけり。

云々

三百三十九

昔、男ありけり。

云々

三百四十

昔、男ありけり。

云々

三百四十一

昔、男ありけり。

云々

三百四十二

昔、男ありけり。

云々

三百四十三

昔、男ありけり。

云々

三百四十四

昔、男ありけり。

云々

三百四十五

昔、男ありけり。

云々

三百四十六

昔、男ありけり。

云々

三百四十七

昔、男ありけり。

云々

三百四十八

昔、男ありけり。

云々

三百四十九

昔、男ありけり。

云々

三百五十

昔、男ありけり。

云々

三百五十一

昔、男ありけり。

云々

三百五十二

昔、男ありけり。

云々

三百五十三

昔、男ありけり。

云々

三百五十四

昔、男ありけり。

云々

三百五十五

昔、男ありけり。

云々

三百五十六

昔、男ありけり。

云々

三百五十七

昔、男ありけり。

云々

三百五十八

昔、男ありけり。

云々

三百五十九

昔、男ありけり。

云々

三百六十

昔、男ありけり。

云々

三百六十一

昔、男ありけり。

云々

三百六十二

昔、男ありけり。

云々

三百六十三

昔、男ありけり。

云々

三百六十四

昔、男ありけり。

云々

三百六十五

昔、男ありけり。

云々

三百六十六

昔、男ありけり。

云々

三百六十七

昔、男ありけり。

云々

三百六十八

昔、男ありけり。

云々

三百六十九

昔、男ありけり。

云々

三百七十

昔、男ありけり。

云々

三百七十一

昔、男ありけり。

云々

三百七十二

昔、男ありけり。

云々

三百七十三

昔、男ありけり。

云々

三百七十四

昔、男ありけり。

云々

三百七十五

昔、男ありけり。

云々

三百七十六

昔、男ありけり。

云々

三百七十七

昔、男ありけり。

云々

三百七十八

昔、男ありけり。

云々

三百七十九

昔、男ありけり。

云々

三百八十

昔、男ありけり。

云々

三百八十一

昔、男ありけり。

云々

三百八十二

昔、男ありけり。

云々

三百八十三

昔、男ありけり。

云々

三百八十四

昔、男ありけり。

云々

三百八十五

昔、男ありけり。

云々

三百八十六

昔、男ありけり。

云々

三百八十七

昔、男ありけり。

云々

三百八十八

昔、男ありけり。

云々

三百八十九

昔、男ありけり。

云々

三百九十

昔、男ありけり。

云々

三百九十一

昔、男ありけり。

云々

三百九十二

昔、男ありけり。

云々

三百九十三

昔、男ありけり。

云々

三百九十四

昔、男ありけり。

云々

三百九十五

昔、男ありけり。

云々

三百九十六

昔、男ありけり。

云々

三百九十七

昔、男ありけり。

云々

三百九十八

昔、男ありけり。

云々

三百九十九

昔、男ありけり。

云々

四百

昔、男ありけり。

云々

四百一

昔、男ありけり。

云々

四百二

昔、男ありけり。

云々

四百三

昔、男ありけり。

云々

四百四

昔、男ありけり。

云々

四百五

昔、男ありけり。

云々

四百六

昔、男ありけり。

云々

四百七

昔、男ありけり。

云々

四百八

昔、男ありけり。

云々

四百九

昔、男ありけり。

云々

四百十

昔、男ありけり。

云々

四百十一

昔、男ありけり。

云々

四百十二

昔、男ありけり。

云々

四百十三

昔、男ありけり。

云々

四百十四

昔、男ありけり。

云々

四百十五

昔、男ありけり。

云々

四百十六

昔、男ありけり。

云々

四百十七

昔、男ありけり。

云々

四百十八

昔、男ありけり。

云々

四百十九

昔、男ありけり。

云々

四百二十

昔、男ありけり。

云々

四百二十一

昔、男ありけり。

云々

四百二十二

昔、男ありけり。

云々

四百二十三

昔、男ありけり。

云々

四百二十四

昔、男ありけり。

云々

四百二十五

昔、男ありけり。

云々

四百二十六

昔、男ありけり。

云々

四百二十七

昔、男ありけり。

云々

四百二十八

昔、男ありけり。

云々

四百二十九

昔、男ありけり。

云々

四百三十

昔、男ありけり。

云々

四百三十一

昔、男ありけり。

云々

四百三十二

昔、男ありけり。

云々

四百三十三

昔、男ありけり。

云々

四百三十四

昔、男ありけり。

云々

四百三十五

昔、男ありけり。

云々

四百三十六

昔、男ありけり。

云々

四百三十七

昔、男ありけり。

云々

四百三十八

昔、男ありけり。

云々

四百三十九

昔、男ありけり。

云々

四百四十

昔、男ありけり。

云々

四百四十一

昔、男ありけり。

云々

四百四十二

昔、男ありけり。

云々

四百四十三

昔、男ありけり。

云々

四百四十四

昔、男ありけり。

云々

四百四十五

昔、男ありけり。

云々

四百四十六

昔、男ありけり。

云々

四百四十七

昔、男ありけり。

云々

四百四十八

昔、男ありけり。

云々

四百四十九

昔、男ありけり。

云々

四百五十

昔、男ありけり。

云々

四百五十一

昔、男ありけり。

云々

四百五十二

昔、男ありけり。

云々

四百五十三

昔、男ありけり。

云々

四百五十四

昔、男ありけり。

云々

四百五十五

昔、男ありけり。

云々

四百五十六

昔、男ありけり。

云々

四百五十七

昔、男ありけり。

云々

四百五十八

昔、男ありけり。

云々

四百五十九

昔、男ありけり。

云々

四百六十

昔、男ありけり。

云々

四百六十一

昔、男ありけり。

云々

四百六十二

昔、男ありけり。

云々

四百六十三

昔、男ありけり。

云々

四百六十四

昔、男ありけり。

云々

四百六十五

昔、男ありけり。

云々

四百六十六

昔、男ありけり。

云々

四百六十七

昔、男ありけり。

云々

四百六十八

昔、男ありけり。

云々

四百六十九

昔、男ありけり。

云々

四百七十

昔、男ありけり。

云々

四百七十一

昔、男ありけり。

云々

四百七十二

昔、男ありけり。

云々

四百七十三

昔、男ありけり。

云々

四百七十四

昔、男ありけり。

云々

四百七十五

昔、男ありけり。

云々

四百七十六

昔、男ありけり。

云々

四百七十七

昔、男ありけり。

云々

四百七十八

昔、男ありけり。

云々

四百七十九

昔、男ありけり。

云々

四百八十

昔、男ありけり。

云々

四百八十一

昔、男ありけり。

云々

四百八十二

昔、男ありけり。

云々

四百八十三

昔、男ありけり。

云々

四百八十四

昔、男ありけり。

云々

四百八十五

昔、男ありけり。

云々

四百八十六

昔、男ありけり。

云々

四百八十七

昔、男ありけり。

云々

四百八十八

昔、男ありけり。

云々

四百八十九

昔、男ありけり。

云々

四百九十

昔、男ありけり。

云々

四百九十一

昔、男ありけり。

云々

四百九十二

昔、男ありけり。

云々

四百九十三

昔、男ありけり。

云々

四百九十四

昔、男ありけり。

云々

四百九十五

昔、男ありけり。

云々

四百九十六

昔、男ありけり。

云々

四百九十七

昔、男ありけり。

云々

四百九十八

昔、男ありけり。

云々

四百九十九

昔、男ありけり。

云々

五百

昔、男ありけり。

云々

五百一

昔、男ありけり。

云々

五百二

昔、男ありけり。

云々

五百三

昔、男ありけり。

云々

五百四

昔、男ありけり。

云々

五百五

昔、男ありけり。

云々

五百六

昔、男ありけり。

云々

五百七

昔、男ありけり。

云々

五百八

昔、男ありけり。

云々

五百九

昔、男ありけり。

云々

五百十

昔、男ありけり。

云々

五百十一

昔、男ありけり。

云々

五百十二

昔、男ありけり。

云々

五百十三

昔、男ありけり。

云々

五百十四

昔、男ありけり。

云々

五百十五

昔、男ありけり。

云々

五百十六

昔、男ありけり。

云々

五百十七

昔、男ありけり。

云々

五百十八

昔、男ありけり。

云々

五百十九

昔、男ありけり。

云々

五百二十

昔、男ありけり。

云々

五百二十一

昔、男ありけり。

云々

五百二十二

昔、男ありけり。

云々

五百二十三

昔、男ありけり。

云々

五百二十四

昔、男ありけり。

云々

五百二十五

昔、男ありけり。

云々

五百二十六

昔、男ありけり。

云々

五百二十七

昔、男ありけり。

云々

五百二十八

昔、男ありけり。

云々

五百二十九

昔、男ありけり。

云々

五百三十

昔、男ありけり。

云々

五百三十一

昔、男ありけり。

云々

五百三十二

昔、男ありけり。

云々

五百三十三

昔、男ありけり。

云々

五百三十四

昔、男ありけり。

云々

五百三十五

昔、男ありけり。

云々

五百三十六

昔、男ありけり。

云々

五百三十七

昔、男ありけり。

云々

五百三十八

昔、男ありけり。

云々

五百三十九

昔、男ありけり。

云々

五百四十

昔、男ありけり。

云々

五百四十一

昔、男ありけり。

云々

五百四十二

昔、男ありけり。

云々

五百四十三

昔、男ありけり。

云々

五百四十四

昔、男ありけり。

云々

五百四十五

昔、男ありけり。

云々

五百四十六

昔、男ありけり。

云々

五百四十七

昔、男ありけり。

云々

五百四十八

昔、男ありけり。

云々

五百四十九

昔、男ありけり。

云々

五百五十

昔、男ありけり。

云々

五百五十一

昔、男ありけり。

云々

五百五十二

昔、男ありけり。

云々

五百五十三

昔、男ありけり。

云々

五百五十四

昔、男ありけり。

云々

五百五十五

昔、男ありけり。

云々

五百五十六

昔、男ありけり。

云々

五百五十七

昔、男ありけり。

云々

五百五十八

昔、男ありけり。

云々

五百五十九

昔、男ありけり。

云々

五百六十

昔、男ありけり。

云々

五百六十一

昔、男ありけり。

云々

五百六十二

昔、男ありけり。

云々

五百六十三

昔、男ありけり。

云々

五百六十四

昔、男ありけり。

云々

五百六十五

昔、男ありけり。

云々

五百六十六

昔、男ありけり。

云々

五百六十七

昔、男ありけり。

云々

五百六十八

昔、男ありけり。

云々

五百六十九

昔、男ありけり。

云々

五百七十

昔、男ありけり。

云々

五百七十一

昔、男ありけり。

云々

五百七十二

昔、男ありけり。

云々

五百七十三

昔、男ありけり。

云々

五百七十四

昔、男ありけり。

云々

五百七十五

昔、男ありけり。

云々

五百七十六

昔、男ありけり。

云々

五百七十七

昔、男ありけり。

云々

五百七十八

昔、男ありけり。

云々

五百七十九

昔、男ありけり。

云々

五百八十

昔、男ありけり。

云々

五百八十一

昔、男ありけり。

云々

五百八十二

昔、男ありけり。

云々

五百八十三

昔、男ありけり。

云々

五百八十四

昔、男ありけり。

云々

五百八十五

昔、男ありけり。

云々

五百八十六

昔、男ありけり。

云々

五百八十七

昔、男ありけり。

云々

五百八十八

昔、男ありけり。

云々

五百八十九

昔、男ありけり。

云々

五百九十

昔、男ありけり。

云々

五百九十一

昔、男ありけり。

云々

五百九十二

昔、男ありけり。

云々

五百九十三

昔、男ありけり。

云々

五百九十四

昔、男ありけり。

云々

五百九十五

昔、男ありけり。

云々

五百九十六

昔、男ありけり。

云々

五百九十七

昔、男ありけり。

云々

五百九十八

昔、男ありけり。

云々

五百九十九

昔、男ありけり。

云々

六百

昔、男ありけり。

云々

六百一

昔、男ありけり。

云々

六百二

昔、男ありけり。

云々

六百三

昔、男ありけり。

云々

六百四

昔、男ありけり。

云々

六百五

昔、男ありけり。

云々

六百六

昔、男ありけり。

云々

六百七

昔、男ありけり。

云々

六百八

昔、男ありけり。

云々

六百九

昔、男ありけり。

云々

六百十

昔、男ありけり。

云々

六百十一

昔、男ありけり。

云々

六百十二

昔、男ありけり。

云々

六百十三

昔、男ありけり。

云々

六百十四

昔、男ありけり。

云々

六百十五

昔、男ありけり。

云々

六百十六

昔、男ありけり。

云々

六百十七

昔、男ありけり。

云々

六百十八

昔、男ありけり。

云々

六百十九

昔、男ありけり。

云々

六百二十

昔、男ありけり。

云々

六百二十一

昔、男ありけり。

云々

六百二十二

昔、男ありけり。

云々

六百二十三

昔、男ありけり。

云々

六百二十四

昔、男ありけり。

云々

六百二十五

昔、男ありけり。

云々

六百二十六

昔、男ありけり。

云々

六百二十七

昔、男ありけり。

云々

六百二十八

昔、男ありけり。

云々

六百二十九

昔、男ありけり。

云々

六百三十

昔、男ありけり。

云々

六百三十一

昔、男ありけり。

云々

六百三十二

昔、男ありけり。

云々

六百三十三

昔、男ありけり。

云々

六百三十四

昔、男ありけり。

云々

六百三十五

昔、男ありけり。

云々

六百三十六

昔、男ありけり。

云々

六百三十七

昔、男ありけり。

云々

六百三十八

昔、男ありけり。

云々

六百三十九

昔、男ありけり。

云々

六百四十

昔、男ありけり。

云々

六百四十一

昔、男ありけり。

云々

六百四十二

昔、男ありけり。

云々

六百四十三

昔、男ありけり。

云々

六百四十四

昔、男ありけり。

云々

六百四十五

昔、男ありけり。

云々

六百四十六

昔、男ありけり。

云々

六百四十七

昔、男ありけり。

云々

六百四十八

昔、男ありけり。

云々

六百四十九

昔、男ありけり。

云々

六百五十

昔、男ありけり。

云々

六百五十一

昔、男ありけり。

云々

六百五十二

昔、男ありけり。

云々

六百五十三

昔、男ありけり。

云々

六百五十四

昔、男ありけり。

云々

六百五十五

昔、男ありけり。

云々

六百五十六

昔、男ありけり。

云々

六百五十七

昔、男ありけり。

云々

六百五十八

昔、男ありけり。

云々

六百五十九

昔、男ありけり。

云々

六百六十

昔、男ありけり。

云々

六百六十一

昔、男ありけり。

云々

六百六十二

昔、男ありけり。

云々

六百六十三

昔、男ありけり。

云々

六百六十四

昔、男ありけり。

云々

六百六十五

昔、男ありけり。

云々

六百六十六

昔、男ありけり。

云々

六百六十七

昔、男ありけり。

云々

六百六十八

昔、男ありけり。

云々

六百六十九

昔、男ありけり。

云々

六百七十

昔、男ありけり。

云々

六百七十一

昔、男ありけり。

云々

六百七十二

昔、男ありけり。

云々

六百七十三

昔、男ありけり。

云々

六百七十四

昔、男ありけり。

云々

六百七十五

昔、男ありけり。

云々

六百七十六

昔、男ありけり。

云々

六百七十七

昔、男ありけり。

云々

六百七十八

昔、男ありけり。

云々

六百七十九

昔、男ありけり。

云々

六百八十

昔、男ありけり。

云々

六百八十一

昔、男ありけり。

云々

六百八十二

昔、男ありけり。

云々

六百八十三

昔、男ありけり。

云々

六百八十四

昔、男ありけり。

云々

六百八十五

昔、男ありけり。

云々

六百八十六

昔、男ありけり。

云々

六百八十七

昔、男ありけり。

云々

六百八十八

昔、男ありけり。

云々

六百八十九

昔、男ありけり。

云々

六百九十

昔、男ありけり。

云々

六百九十一

昔、男ありけり。

云々

六百九十二

昔、男ありけり。

云々

六百九十三

昔、男ありけり。

云々

六百九十四

昔、男ありけり。

云々

六百九十五

昔、男ありけり。

云々

六百九十六

昔、男ありけり。

云々

六百九十七

昔、男ありけり。

云々

六百九十八

昔、男ありけり。

云々

六百九十九

昔、男ありけり。

云々

七百

昔、男ありけり。

云々

七百一

昔、男ありけり。

云々

七百二

昔、男ありけり。

云々

七百三

昔、男ありけり。

云々

七百四

昔、男ありけり。

云々

七百五

昔、男ありけり。

云々

七百六

昔、男ありけり。

云々

七百七

昔、男ありけり。

云々

七百八

昔、男ありけり。

云々

七百九

昔、男ありけり。

云々

七百十

昔、男ありけり。

云々

七百十一

昔、男ありけり。

云々

七百十二

昔、男ありけり。

云々

七百十三

昔、男ありけり。

云々

七百十四

昔、男ありけり。

云々

七百十五

昔、男ありけり。

云々

七百十六

昔、男ありけり。

云々

七百十七

昔、男ありけり。

云々

七百十八

昔、男ありけり。

云々

七百十九

昔、男ありけり。

云々

七百二十

昔、男ありけり。

云々

七百二十一

昔、男ありけり。

云々

七百二十二

昔、男ありけり。

云々

七百二十三

昔、男ありけり。

云々

七百二十四

昔、男ありけり。

云々

七百二十五

昔、男ありけり。

云々

七百二十六

昔、男ありけり。

云々

七百二十七

昔、男ありけり。

云々

七百二十八

昔、男ありけり。

云々

七百二十九

昔、男ありけり。

云々

七百三十

昔、男ありけり。

云々

七百三十一

昔、男ありけり。

云々

七百三十二

昔、男ありけり。

云々

七百三十三

昔、男ありけり。

云々

七百三十四

昔、男ありけり。

云々

七百三十五

昔、男ありけり。

云々

七百三十六

昔、男ありけり。

云々

七百三十七

昔、男ありけり。

云々

七百三十八

昔、男ありけり。

云々

七百三十九

昔、男ありけり。

云々

七百四十

昔、男ありけり。

云々

七百四十一

昔、男ありけり。

云々

七百四十二

昔、男ありけり。

云々

七百四十三

昔、男ありけり。

云々

七百四十四

昔、男ありけり。

云々

七百四十五

昔、男ありけり。

云々

七百四十六

昔、男ありけり。

云々

七百四十七

昔、男ありけり。

云々

七百四十八

昔、男ありけり。

云々

七百四十九

昔、男ありけり。

云々

七百五十

昔、男ありけり。

云々

七百五十一

昔、男ありけり。

云々

七百五十二

昔、男ありけり。

云々

七百五十三

昔、男ありけり。

云々

七百五十四

昔、男ありけり。

云々

七百五十五

昔、男ありけり。

云々

七百五十六

昔、男ありけり。

云々

七百五十七

昔、男ありけり。

云々

七百五十八

昔、男ありけり。

云々

七百五十九

昔、男ありけり。

云々

七百六十

昔、男ありけり。

云々

七百六十一

昔、男ありけり。

云々

七百六十二

昔、男ありけり。

云々

七百六十三

昔、男ありけり。

云々

七百六十四

昔、男ありけり。

云々

七百六十五

昔、男ありけり。

云々

七百六十六

昔、男ありけり。

云々

七百六十七

昔、男ありけり。

云々

七百六十八

昔、男ありけり。

云々

七百六十九

昔、男ありけり。

云々

七百七十

昔、男ありけり。

云々

七百七十一

昔、男ありけり。

云々

七百七十二

昔、男ありけり。

云々

七百七十三

昔、男ありけり。

云々

七百七十四

昔、男ありけり。

云々

七百七十五

昔、男ありけり。

云々

七百七十六

昔、男ありけり。

云々

七百七十七

昔、男ありけり。

云々

七百七十八

昔、男ありけり。

云々

七百七十九

昔、男ありけり。

云々

七百八十

昔、男ありけり。

云々

七百八十一

昔、男ありけり。

云々

七百八十二

昔、男ありけり。

云々

七百八十三

昔、男ありけり。

云々

七百八十四

昔、男ありけり。

云々

七百八十五

昔、男ありけり。

云々

七百八十六

昔、男ありけり。

云々

七百八十七

昔、男ありけり。

云々

七百八十八

昔、男ありけり。

云々

七百八十九

昔、男ありけり。

云々

七百九十

昔、男ありけり。

云々

七百九十一

昔、男ありけり。

云々

七百九十二

昔、男ありけり。

云々

七百九十三

昔、男ありけり。

云々

七百九十四

昔、男ありけり。

云々

七百九十五

昔、男ありけり。

云々

七百九十六

昔、男ありけり。

云々

七百九十七

昔、男ありけり。

云々

七百九十八

昔、男ありけり。

云々

七百九十九

昔、男ありけり。

云々

八百

昔、男ありけり。

云々

八百一

昔、男ありけり。

云々

八百二

昔、男ありけり。

云々

八百三

昔、男ありけり。

云々

八百四

昔、男ありけり。

云々

八百五

昔、男ありけり。

云々

八百六

昔、男ありけり。

云々

八百七

昔、男ありけり。

云々

八百八

昔、男ありけり。

云々

八百九

昔、男ありけり。

云々

八百十

昔、男ありけり。

云々

八百十一

昔、男ありけり。

云々

八百十二

昔、男ありけり。

云々

八百十三

昔、男ありけり。

云々

八百十四

昔、男ありけり。

云々

八百十五

昔、男ありけり。

云々

八百十六

昔、男ありけり。

云々

八百十七

昔、男ありけり。

云々

八百十八

昔、男ありけり。

云々

八百十九

昔、男ありけり。

云々

八百二十

昔、男ありけり。

云々

八百二十一

昔、男ありけり。

云々

八百二十二

昔、男ありけり。

云々

八百二十三

昔、男ありけり。

云々

八百二十四

昔、男ありけり。

云々

八百二十五

昔、男ありけり。

云々

八百二十六

昔、男ありけり。

云々

八百二十七

昔、男ありけり。

云々

八百二十八

昔、男ありけり。

云々

八百二十九

昔、男ありけり。

云々

八百三十

昔、男ありけり。

云々

八百三十一

昔、男ありけり。

云々

八百三十二

昔、男ありけり。

云々

八百三十三

昔、男ありけり。

云々

八百三十四

昔、男ありけり。

云々

八百三十五

昔、男ありけり。

云々

八百三十六

昔、男ありけり。

云々

八百三十七

昔、男ありけり。

云々

八百三十八

昔、男ありけり。

云々

八百三十九

昔、男ありけり。

云々

八百四十

昔、男ありけり。

云々

八百四十一

昔、男ありけり。

云々

八百四十二

昔、男ありけり。

云々

八百四十三

昔、男ありけり。

云々

八百四十四

昔、男ありけり。

云々

八百四十五

昔、男ありけり。

云々

八百四十六

昔、男ありけり。

云々

八百四十七

昔、男ありけり。

云々

八百四十八

昔、男ありけり。

云々

八百四十九

昔、男ありけり。

云々

八百五十

昔、男ありけり。

云々

八百五十一

昔、男ありけり。

云々

八百五十二

昔、男ありけり。

云々

八百五十三

昔、男ありけり。

云々

八百五十四

昔、男ありけり。

云々

八百五十五

昔、男ありけり。

云々

八百五十六

昔、男ありけり。

云々

八百五十七

昔、男ありけり。

云々

八百五十八

昔、男ありけり。

云々

八百五十九

昔、男ありけり。

云々

八百六十

昔、男ありけり。

云々

八百六十一

昔、男ありけり。

云々

八百六十二

昔、男ありけり。

云々

八百六十三

昔、男ありけり。

云々

八百六十四

昔、男ありけり。

云々

八百六十五

昔、男ありけり。

云々

八百六十六

昔、男ありけり。

云々

八百六十七

昔、男ありけり。

云々

八百六十八

昔、男ありけり。

云々

八百六十九

昔、男ありけり。

云々

八百七十

昔、男ありけり。

云々

八百七十一

昔、男ありけり。

云々

八百七十二

昔、男ありけり。

云々

八百七十三

昔、男ありけり。

云々

八百七十四

昔、男ありけり。

云々

八百七十五

昔、男ありけり。

云々

八百七十六

昔、男ありけり。

云々

八百七十七

昔、男ありけり。

云々

八百七十八

昔、男ありけり。

云々

八百七十九

昔、男ありけり。

云々

八百八十

昔、男ありけり。

云々

八百八十一

昔、男ありけり。

云々

八百八十二

昔、男ありけり。

云々

八百八十三

昔、男ありけり。

云々

八百八十四

昔、男ありけり。

云々

八百八十五

昔、男ありけり。

云々

八百八十六

昔、男ありけり。

云々

八百八十七

昔、男ありけり。

云々

八百八十八

昔、男ありけり。

云々

八百八十九

昔、男ありけり。

云々

八百九十

昔、男ありけり。

云々

八百九十一

昔、男ありけり。

云々

八百九十二

昔、男ありけり。

云々

八百九十三

昔、男ありけり。

云々

八百九十四

昔、男ありけり。

云々

八百九十五

昔、男ありけり。

云々

八百九十六

昔、男ありけり。

伊勢物語　WA7-28　01-043
国立国会図書館

きえ有りこゝろを
とゝ
なり　男のありようくてふとうけて
さす舟のそこぬともこゝろ
こもわ江
舟はてさゝろをいそがは
みなの人
の
詞
ほとゝきすかな
田舎人のおもてにあぢきなくおもふらんとなり
三十四
むかし　そらごとつきまつけてもそうくんの
そバえないねバ
むねとはたりあげくこゝろの
おもひ
て
かもめこそ伊へるかんこ
眺めやる
ことろ
ふりにし人
いう
ものから
ほとゝきす
うなゐこ
まとゝ
すわれとも
ほす

三十五
昔心
おの
のをゝあわをし
たえてのちもあれ
男
はまぬるあめをとゞと
三十六
女
みもたに
ものでたえ
あのをゝあわをし
たえてのちもあれ
谷せむみ見ねまのそこ
たえ女と人
ふみまうぼう
三十七
昔
女
いてゝとおもふくこゝろ
もし男いろのこゝろくこゝろ
谷せむみ見ねまのそこ
たえ女と人
ふみまうぼう
かもよ
ほくか
ごみみ
なわ
ふ女
あゝ
ぬれ
相糸計利
なくや
おもひ
ん

伊勢物語　WA7-28　01-044　国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-045　-A
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-045　-B
国立国会図書館

桓武天皇
平城天皇
嵯峨天皇
淳和天皇
崇子内親王
仁明天皇
源定一至一善
順

伊勢物語　WA7-28　01-045　-C
国立国会図書館

雅男

昔男すきごとけしうはあらぬ女

方もる云こゝハ
方の民戸のさ
まこゝせ女を
を戸の残る
うほとゝ
ものよくて
けりうあ
らむをせ
里の男より
なるこゝろ
のほ守の制
て良と残
と好ハ禁る
うようて
母のもとく
つゝみけせ
あるうゝこゝ
すへうゝく
しとゝそ
やくらゝあ
りそをハ
ーらてさゝ
あをハ
おへいなん
まゝ

賢良らハ女子さまざまにつかうまつりおやありてもら

もそはくとゝそこよりいでゝ

とゝさこゝう伊へはゞ

成者 尚流 勢 無

あれやまるゝいさはひふみわけ道ハやゝ

むるやきほひすゝ

ーをんふまいやゝ

撲力おそきとをすひとまりちなん

ゝうゝ

ゝをすゝ

やくらゝあ

りそをハ

おもひえいやまさる

やうの女をおひうは

おもいつゝ

弥 信 計 利 逐尓 追捨 雄 猛

ーうハあらぬ女

雅男

着力すきをとこけ
うはあるに
おもひわさうらひ
もそはくとそこをお女
とうさこう伊勢
成者 尚流 無
あれそまる心いさはひ
むるやきほひを
撲カ
やくうちうそ
かりそうをハ
ーらてさう
ーらるをハ
おへおもんと
まる

雅男

昔男ありけり
歌舞者ト云ヒテ
を女といふ
しる中なれい母のおひうんなそ
う働よかりつれ
ありとうてもあり
ーうれ
ーうれ
ーうれ

雅男

昔男すきものにて、けしう
はあらぬ女の、
賢良らしき様子にはあらで
おもしろきことはなけれども
もてなんとする女を、かたへの
人のあなづりければ、
追捨
やりてけり。
仁之勢
ねんごろにてえあはざりければ、
女、
成者
いとかなしくて、
尚流
かくなむ、
勢
無
いつまでかくはしのばむ
むかしはものをおもはせし
いまはおもはすれば
撲
かしらかきやるとてまりもちてなん
いにしへのしづのおだまき
くりかへしむかしを今になすよしも
がな

せどもとくむかしに
なほかへりこよ
屋
そこにゐてこそ
いにしへもしか
そこにゐて
いまはかへらむ
いにしへの別れもかくやうらん
なほ
なほ
なほ

伊勢物語　WA7-28　01-047
国立国会図書館

四十二

昔をとこ、女を
あひ知へ
里へやり
しろめなくさわとて
忘りけり
なわろ
ありてえ
そこ
たか

伊勢物語　WA7-28　01-048
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-049　-A
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-049　-B
国立国会図書館

伊勢物語　WA7-28　01-050
国立国会図書館

ゆくはるの雲のうへまでいぬべくは
都かすみとたちかくしてよ

かへるさの物とや人のおもふらむ
都をいでて山路来るみは

むかしおとこ、うるはしき友ふたりありけり。ひとりをばあたう
のきみといひ、ひとりをばしのぶのきみといふ。

むかしおとこありけり。男、うるはしきふたりの友ありけり。
ひとりをばあてうのきみといひ、ひとりをばしのぶのきみといふ。
あてうのきみは、あてなるをこのみ、しのぶのきみは、ひなびたるをこのみけり。
おとこ、かたちよりはじめて、よろづのことにつけて、あてうのきみはあてなり、しのぶのきみはひなびたり。
おとこ、いかがすべきと、思ひわづらひけり。
さて、あてうのきみのもとにいきてあるときには、しのぶのきみのことをいひ、しのぶのきみのもとにいきてあるときには、あてうのきみのことをいひけり。
おとこ、いかがすべきと、思ひわづらひけり。
さて、あてうのきみのもとにいきてあるときには、しのぶのきみのことをいひ、しのぶのきみのもとにいきてあるときには、あてうのきみのことをいひけり。

伊勢物語　WA7-28　01-051
国立国会図書館

国立国会図書館

四十六

むかし男いかがしけむ

たゆさうどおもひおもほえ

ゆきかへるあとをいとかなしがりて

ふりはへてとしの月日をへてなむこせるふみのあやしき

まうとこそ忘やーらめ

わびたまふなれ

雨ハ、あめのまへ

有行れ去

まうで来ばえあはじとてなむ

四十七

むかし男ありけり

女のもとをとこ

なんざりけるを

いかがしけむ

女

世間之人心波目離者可所忘物乎社在礼

ふる雪は有行れ去

目離雖

歌念時忘無者面影不立

大幣能引不手者

四十八

むかし男ありけり

女のもとをとこ

なんざりけるを

いかがしけむ

女

まてといはましものをさよふけてやまのかたよりいでしつきかな

おもへどえこそあはざりけれ

口上芝手紙

おほぬさとゆふこそたのまざりけれ

四十六

昔男有けり

たゆさうどおもひおもほえ

ゆきかへるあとをいとかなしがりて

ふりはへてとしの月日をへてなむこせるふみのあやしき

まうとこそ忘やーらめ

わびたまふなれ

雨ハ、あめのまへ

有行れ去

まうで来ばえあはじとてなむ

四十七

むかし男ありけり

女のもとをとこ

なんざりけるを

いかがしけむ

女

世間之人心波目離者可所忘物乎社在礼

ふる雪は有行れ去

目離雖

歌念時忘無者面影不立

大幣能引不手者

四十八

むかし男ありけり

女のもとをとこ

なんざりけるを

いかがしけむ

女

まてといはましものをさよふけてやまのかたよりいでしつきかな

おもへどえこそあはざりけれ

口上芝手紙

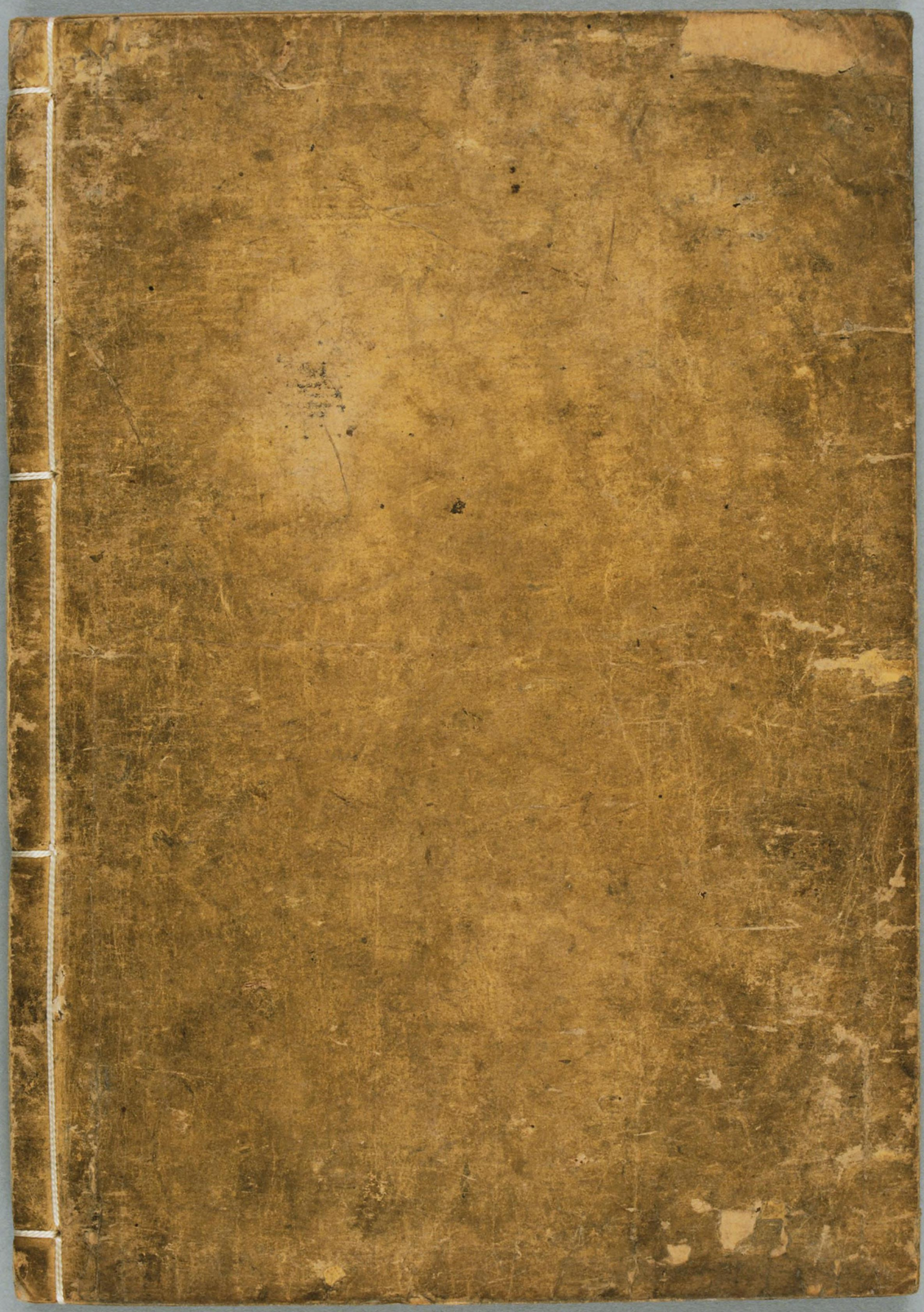
おほぬさとゆふこそたのまざりけれ

特別 ヨ二 11

WA 7
28
1

伊勢物語　WA7-28　01-053

国立国会図書館



伊勢物語　WA7-28　01-054
国立国会図書館